

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
ミュージックアーティスト科											
音楽基礎 3											
対象	2 年次	開講期	前期	区分	必	種別	講義	時間数	60	単位	4
担当教員	大野元毅			実務 経験	有	職種	ミュージシャン				
授業概要											
学生が音楽を学ぶ際、また実務に携わる際に必須となる音楽理論を学ぶ。音楽の形態が多種多様化する現在においても楽譜での伝達は不変であり、楽器や作曲技術を習得する際に必要不可欠なものである。また実務上においてもスムーズな楽譜上での意思の疎通が正しく行われないと業務に支障をきたすことになる。楽譜を理解することは音楽を理解することと同義であり、また音楽家同士がコミュニケーションするための言語である。											
到達目標											
西洋音楽の要となるメジャーとマイナーにおける調性と和声の仕組みをしっかりと把握し、必要な場面で活用することができる。音楽の三要素であるリズム・コード・メロディの持つ意味をしっかりと把握し、楽器演奏、作曲技術など自己の専門技術に生かすことができることを目標とする。											
授業方法											
音楽家同士のコミュニケーションツールとしての理論、（読み書き、ルール等）調性、和声の機能を1年次の復習を交えながら進行し、実際の場面で応用できるよう練習問題を多く取り入れて進行していく。黒板へ板書及び適宜資料を配布する。その他適宜音資料も使用する。											
成績評価方法											
試験60%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、授業内小テスト20%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、平常点20%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)											
履修上の注意											
授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。理由のない途中退席は認めない。理論は時として高度な内容を含むので各自予習復習に励むこと。											
教科書教材											
配布プリント											
回数	授業計画										
第1回	基礎音楽理論の復習。楽譜の正しい書き方と規則を把握する。										
第2回	基礎音楽理論の復習。基礎的な音楽記号について復習する。										
第3回	基礎音楽理論の復習。音階とは何かを把握する。ペンタトニックスケール及びメジャースケールについて深い理解ができる。										

2020年度 日本工学院八王子専門学校	
ミュージックアーティスト科	
音楽基礎 3	
第4回	基礎音楽理論の復習。音階とは何かを把握する。3和音及び4和音の構成音について深い理解ができる。
第5回	マイナースケールについて。マイナースケールとメジャースケールの違いを把握できる。
第6回	3種類のマイナースケールの成り立ちと用法について。3種類のマイナースケールを適切に使用することができる。
第7回	メジャースケール上のダイアトニックコードについて。コードの機能が理解できる。
第8回	マイナースケール上のダイアトニックコードについて。3種類のマイナースケール上のダイアトニックコードが理解できる。
第9回	マイナースケール上のダイアトニックコードについて。3種類のマイナースケール上のダイアトニックコードが理解できる。
第10回	近親調について。近親調とその仕組みについて把握し、使用することができる。
第11回	近親調について。セカンダリー・ドミナントを使用し、近親調への転調ができる。
第12回	近親調について。近親調からの借用和音をコード進行に取り入れる事ができる。
第13回	マイナースケール上のダイアトニックコードの応用。マイナースケール上のダイアトニックコードを用いてコード進行を作ることができる。
第14回	関係調ではない調への転調方法がわかる。
第15回	まとめと復習